Hyogo Performing Arts Center Opera 2022
Yutaka Sado, Artistic Director

La Bohème

Music by Giacomo Puccini
Libretto by Giuseppe Giacosa and Luigi Illica

2020年に中止を決断してから2年、奇跡的にその時と同じキャストとスタッフが再び集まり「ラ・ボエーム」を上演します。イタリアでのオーディションで選ばれた才能ある若手に加え、日本を代表する、また世界で活躍する日本人歌手が再集結し、これ以上ないキャスティングで上演できることをとてもうれしく思っています。

この「ラ・ボエーム」はオペラの醍醐味が詰まった作品です。ソリストの歌の力はもちろん、アンサンブルも非常に重要ですし、パリに雪がしんしんと降る様子、登場人物たちの心情や状況がオーケストラで表され、衣裳、装置、照明などが一つになって進行する、まさに総合芸術といえるでしょう。だからこそ、私たちを一瞬にしてパリへ、そして物語の世界へ連れて行ってくれるのです。

登場するのは、パリの学生街、カルチェラタンに住む、貧しくも夢がある若者たち。そんな中で対照的な二つの恋がはじまります。一つは相手を思いやるがあまり、うまくいかない恋、もう一方は好きだけれど喧嘩ばかりしてしまう恋。最後は悲しい運命が待っていますが、ラブ・ストーリーとして秀逸です。

コロナ禍で過ごした期間、誰にとっても変化があった、変化せざるを得なかったと思います。その間に、世界中から兵庫に集まってくる様々な想いが蓄積されているのではないでしょうか。今回の上演では、そんな皆の想いが良い意味で何か変化をもたらすのではないかと思っています。ぜひ楽しみにしていてください。

——佐渡 裕

【全8公演】
2022 7/15(金) 16(土) 17(日) 18(月・祝) 20(水) 21(木) 23(土) 24(日)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール 各日2:00PM開演(1:15PM開場) 上演時間:約2時間30分(休憩2回含む)

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

A 12,000円 B 9,000円 C 7,000円 D 5,000円 E 3,000円 [消費税込 全席指定]

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス **0798-68-0255** [10:00AM~5:00PM 月曜休※祝日の場合翌日]

〈インターネット予約〉 http://www.gcenter-hyogo.jp お席も選べます! 兵庫 ボエーム 検索

特設ウェブサイト随時更新中!

【発売日 B・C・D・E席 3/11(金) A席 3/12(土)】

●チケットぴあ http://pia.jp/t/ ●ローソンチケット http://l-tike.com ●イープラス http://eplus.jp

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター[B・C・D・E席 3/12(土)、A席 3/13(日)より、残席がある場合のみ]

関西から 文化力 POWER OF CULTURE

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により、出演者・公演内容・座席配置等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。 主催/兵庫県、兵庫県立芸術文化センター(制作)

<チケットご購入のお客様へお願い> 新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでのご購入時には、来場者情報把握のため、先行予約会員(無料)へのご登録をお願いしております。なお、お一人様2枚までとさせていただきます。※入場者数を制限して販売する場合があります。※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。※マスクを着用されない方はご入場いただけません。(マウスシールド不可)※感染の再拡大等により、公演の中止や、出演者、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。

ご来場前にウェブサイト掲載の〈当センターをご利用のお客様へ〉をご確認いただきますようお願いします

http://www.gcenter-hyogo.jp
兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

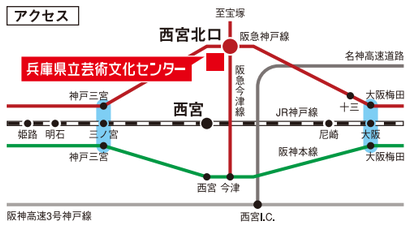
先行予約会員募集中!
詳しくは、http://www.gcenter-hyogo.jp

便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス



佐渡裕 指揮×米国アカデミー賞受賞デザイナー 演出
甘美な音楽に彩られた永遠の名作

パリ—
たった一度の
愛、青春

歌劇
ラ・ボエーム

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2022

全4幕/イタリア語上演・日本語字幕付/新制作

[音楽] ジャコモ・プッチーニ
[台本] ジュゼッペ・ジャコーザ、ルイジ・イッリカ
[指揮] 佐渡 裕 [演出] ダンテ・フェレッティ

Giacomo Puccini
La Bohème

【全8公演】
2022 7/15(金) 16(土) 17(日) 18(月・祝) 20(水) 21(木) 23(土) 24(日)

兵庫県立芸術文化センター

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール 各日2:00PM開演(1:15PM開場) 上演時間:約2時間30分(休憩2回含む)

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00AM~5:00PM 月曜休※祝日の場合翌日] http://www.gcenter-hyogo.jp

主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター(制作) 助成:公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団/公益財団法人 花王 芸術・科学財団

文化庁 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

あなたに夢を、宝くじ 街に笑顔を。 クーちゃん

ラ・ボエーム

愛に憧れ、夢に生きる——
ボヘミアンの青春を甘美な旋律で紡ぐ
「冷たい手を」「私の名前はミミ」「私が街を歩けば」
プッチーニ、永遠の名作

今年のプロデュースオペラは、華麗なるイタリア・オペラ、「ラ・ボエーム」。2020年、コロナの感染拡大により延期となった演目が満を持して登場します。そこで描かれるのは、19世紀前半のパリに集った“ボヘミアン”＝定職を持たない若き芸術家たち。貧しくとも夢を糧に生きる彼らを描いたこのオペラの原作はアンリ・ミュルジェの小説ですが、そこからプッチーニと二人の台本作家はお針子ミミと詩人ロドルフォの出会いから別れを物語の軸とし、普遍的な愛と青春のオペラを生み出しました。プッチーニも自身の若き頃を重ね合わせたと言われる物語。瑞々しい音楽によって、初演から100年以上経った今もなお、世界中で最も愛されるオペラのひとつとして輝きを放っています。

STORY

パリ、クリスマス・イヴ。凍えるような部屋。

詩人のロドルフォと画家のマルチェッロが薪を買う金もなく仕事に励んでいるところへ、仲間である哲学者コッリーネと音楽家ショナールが帰ってくる。ショナールの稼ぎを軍資金に、4人は出かけることにするが、ロドルフォは原稿を書き上げるために一人部屋に残る。そこへ「ろうそくの火を分けて欲しい」とやってきたミミ。二人はたちまち恋に落ち、仲間を追って街へと向かう。

物売りや子供達で賑わうパリの街。4人の芸術家とミミは カフェ・モミュスで食事の席に着く。するとマルチェッロの元恋人ムゼッタが現れる。彼女は今や金持ちに囲われる身となっているが、お互いに未練のある二人。遂にムゼッタはパトロンを撒いてマルチェッロの胸へと戻ってくる。

ロドルフォと暮らし始めたミミだが、ある日マルチェッロを訪ね、ロドルフォとの仲に陰りが出ていることを話す。一方のロドルフォもそこにやってきたので、ミミは姿を隠す。ロドルフォはやがて身を切る思いでマルチェッロに真実を話しはじめ・・・。

登場人物

芸術家仲間／貧しいながらも成功を夢見てその日暮らしを続ける若者たち

- **ミミ**：お針子として慎ましく暮らしているが、不治の病に。
- **ムゼッタ**：貧しいマルチェッロに見切りをつけて金持ちに囲われているが、本当は未練がある。
- **ロドルフォ（詩人）**：ミミと出会い、恋人となるが、貧しく、病気のミミを助けられないため別れを決意。
- **マルチェッロ（画家）**：奔放なムゼッタを罵りながらも、本当は惹かれている。
- **コッリーネ（哲学者）**
- **ショナール（音楽家）**

米アカデミー賞美術賞に3度輝いたフェレッティ演出
日本とイタリアから迎える最高に旬なキャスト

演出はイタリア出身のダンテ・フェレッティ。フランコ・ゼフィレッリやフェデリコ・フェリーニら名匠の下でキャリアを積み、ハリウッドでマーティン・スコセッシ、ティム・バートン監督映画等の美術を担当、アカデミー賞をも受賞した世界的デザイナーです。代表作には「インタビュー・ウィズ・バンパイア」「アビエイター」「沈黙」「スウィーニー・トッド」と著名映画がずらり！ オペラでは1992年にミラノ・スカラ座「椿姫」の美術を手掛け、現在もスカラ座で上演されています。今回兵庫のために新たに、美しく洗練された「ラ・ボエーム」を創ります。

「ラ・ボエーム」の登場人物に映るのは若さゆえのエネルギーと儚さ。それらを鮮やかに表現しうる旬の歌手が揃います！ イタリアでオーディションを行い、ミラノ・スカラ座アカデミー出身者たちを選抜。スカラ座にデビューしたばかりの逸材など、現地でも評判の明日のスターを聴く好機です！

一方の日本人歌手は、プロデュースオペラ初登場となるミミ役の砂川涼子、ロドルフォ役の笛田博昭ら、これらの役といえば直ぐに名前が挙がる“決定版”の配役が実現。ドイツ、オーストリアの劇場に所属する髙田智宏、平野和ら第一線で活躍する歌手のアンサンブルにも期待が高まります。

魅力的な各組キャストと関西のプロフェッショナルや児童合唱など総勢100名に及ぶ合唱団で夢のようなオペラをお贈りします！

©Dante Ferretti　ダンテ・フェレッティによる装置デザイン画

STAFF

［指揮］佐渡 裕 *Yutaka SADO, conductor*

［演出、装置、衣裳］ダンテ・フェレッティ *Dante FERRETTI, stage director, set and costume designer*

［演出補］マリーナ・ビアンキ *Marina BIANCHI, associate stage director*
［合唱指揮］シルヴィア・ロッシ *Silvia ROSSI, chorusmaster*
［装置］フランチェスカ・ロ・スキアーヴォ *Francesca LO SCHIAVO, set designer*
［照明］マルコ・フィリベック *Marco FILIBECK, lighting designer*
［衣裳補］小栗菜代子 *Nayoko OGURI, associate costume designer*
［装置助手］マッシモ・ラッジ *Massimo RAZZI, associate set designer*
［舞台監督］幸泉浩司 *Hiroshi KOIZUMI, stage manager*
［プロデューサー］小栗哲家 *Tetsuya OGURI, producer*

［制作］兵庫県立芸術文化センター *production by Hyogo Performing Arts Center*

CAST

7/15 17 20 23

©Kamau Zarewicz　©Alejandro Rosales

ミミ Mimi	ロドルフォ Rodolfo	ムゼッタ Musetta	マルチェッロ Marcello	ショナール Schaunard	コッリーネ Colline	ベノア／アルチンドーロ Benoit / Alcindoro	パルピニョール Parpignol
フランチェスカ・マンツォ Francesca MANZO	リッカルド・デッラ・シュッカ Riccardo DELLA SCIUCCA	エヴァ・トラーチュ Ewa TRACZ	グスターボ・カスティーリョ Gustavo CASTILLO	パオロ・イングラショッタ Paolo INGRASCIOTTA	エウゲニオ・ディ・リエート Eugenio DI LIETO	ロッコ・カヴァッルッツィ Rocco CAVALLUZZI	清原邦仁 Kunihito KIYOHARA

7/16 18 21 24

©FUKAYA Yoshinobu　©Sachana Merabishvili　©Pepe Lange　©Claudia Prieler

ミミ Mimi	ロドルフォ Rodolfo	ムゼッタ Musetta	マルチェッロ Marcello	ショナール Schaunard	コッリーネ Colline	ベノア／アルチンドーロ Benoit / Alcindoro	パルピニョール Parpignol
砂川涼子 Ryoko SUNAKAWA	笛田博昭 Hiroaki FUEDA	ソフィア・ムケドリシュヴィリ Sofia MCHEDLISHVILI	髙田智宏 Tomohiro TAKADA	町 英和 Hidekazu MACHI	平野 和 Yasushi HIRANO	片桐直樹 Naoki KATAGIRI	水口健次 Kenji MIZUGUCHI

［合　唱］ひょうごプロデュースオペラ合唱団 *The Produce Opera Chorus, Hyogo*
ひょうご「ラ・ボエーム」合唱団 *Hyogo La Bohème Chorus*
ひょうごプロデュースオペラ児童合唱団 *The Produce Opera Children's Chorus, Hyogo*
［管弦楽］兵庫芸術文化センター管弦楽団 *Hyogo Performing Arts Center Orchestra*